

南海トラフ巨大地震

南海トラフ地震とは、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域とする巨大地震のことです。南海トラフ地震は関東から四国・九州にかけて極めて広い範囲で著しい被害が発生する可能性があり、震源に近い地域では、最大震度7、想定される津波高は最大30m超と予測されています。

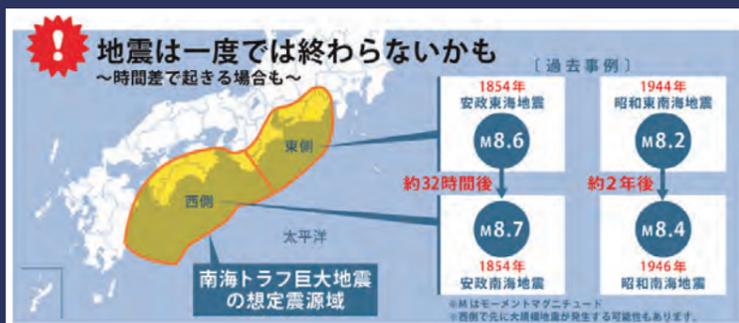
過去の事例から約90年から150年の間隔で発生し、前回の南海トラフ地震は昭和東南海地震（1944年）と昭和南海地震（1946年）で、70年以上前に発生しました。最近の報道で、政府は、静岡県から九州沖合にかけての南海トラフ沿いでマグニチュード8から9級の巨大地震が20年以内に起こる可能性が60%に高まったと発表しています。

南海トラフ地震について理解を深め、いつ起こるか分からない災害に備えましょう。

◆南海トラフ地震は複数回起こる可能性がある

南海トラフ地震は、間隔をおいて時間差で地震が発生することが知られています。過去の地震の多くは、東側・西側の両領域がほぼ同時か時間差をもって発生しています。

今後も同様に発生する可能性があるため、南海トラフ沿いで一度地震が発生した場合には注意が必要です。



◆南海トラフ地震臨時情報に注意！

南海トラフ沿いで異常な現象を観測したり地震発生の可能性が相対的に高まると気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。臨時情報は、南海トラフ地震臨時情報（調査中）などのキーワードを付けて発表されますので確認しておきましょう。

キーワード	各キーワードを付記する条件
調査中	■観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
巨大地震警戒	■南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界においてM8.0以上の地震が発生したと評価した場合
巨大地震注意	■南海トラフ地震の想定震源域内のプレート境界においてM7.0以上、M8.0未満の地震が発生したと評価した場合 ■想定震源域のプレート境界意外や、想定震源域の海溝軸外側50km程度までの範囲でM7.0以上の地震が発生したと評価した場合など
調査終了	■巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合

※南海トラフ地震に関するメカニズムや臨時情報について詳しく知りたい方は、内閣府や気象庁のホームページをご確認ください。



▲内閣府ホームページ



▲気象庁ホームページ

◆町も南海トラフ地震防災対策推進地域に

震源は一宮町から離れていますが、津波高3m以上の地域に含まれているため南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されています。

【一宮町の被害想定】

地震の最大震度は5弱、津波は沿岸部で6m以上、地震発生から約70分で到達すると予測されています。

◆臨時情報が発表されたらどうする？

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）または臨時情報（巨大地震注意）が発表された場合、発生から1週間は後発地震に警戒してください。

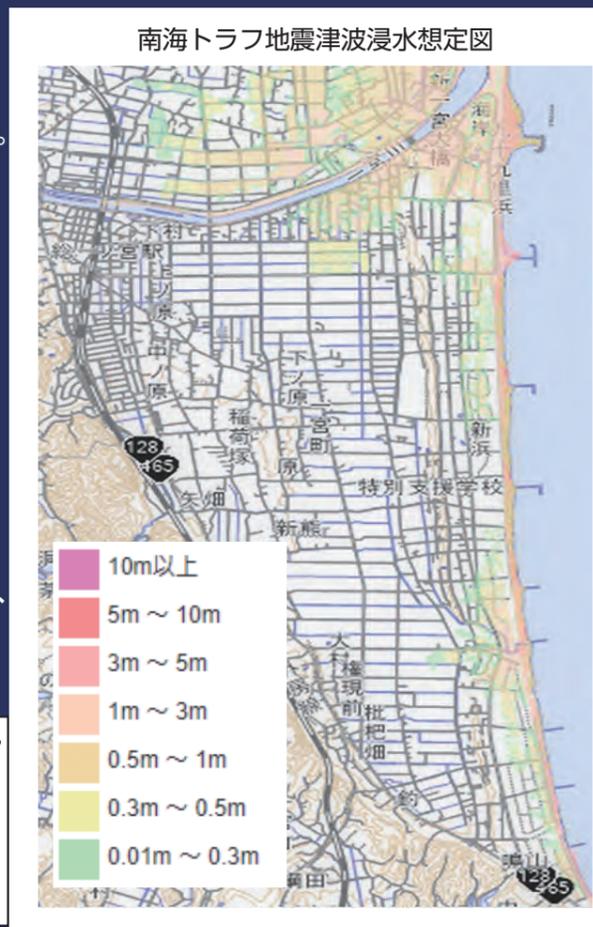
臨時情報が発表されたら防災行政無線などで情報を発信します。発表された後の行動は、防災意識を高く持ち、普段の生活を行ってください。後発地震が発生した際には、速やかに避難できるようにしましょう。

浸水想定区域を確認し、地震発生から津波到達の約70分以内に避難できるように備えてください。避難に間に合わない方は知人宅や親戚宅に事前に避難しておくことも有効です。

詳しい浸水想定区域はこちら



▲ちば情報マップ



臨時情報発表後の防災対応の流れ

